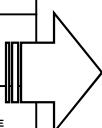


第6期吹田市障がい福祉計画及び第2期吹田市障がい児福祉計画の策定について

1 障がい福祉関連計画の位置づけ及び内容

計画名	根拠法	内容
吹田市障がい者計画	障害者基本法	本市における療育、教育、就労、福祉等の幅広い分野の障がい者施策の基本的な考え方を定める計画
吹田市障がい福祉計画	障害者総合支援法	本市における障がい福祉サービス等の種類ごとの具体的な実施内容、必要見込量、その確保のための方策等を定める計画
吹田市障がい児福祉計画	児童福祉法	本市における障がい児福祉サービス等の種類ごとの具体的な実施内容、必要見込量、その確保のための方策等を定める計画

計画期間	障がい者計画	第4期（平成28年度（2016年度）から令和8年（2026年度）まで）					
	障がい福祉計画	第5期			第6期		
	障がい児福祉計画	第1期			第2期		
年度	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	
取組内容	—	① 平成30年度実績評価 ② 次期計画（第6期障がい福祉及び第2期障がい児福祉計画）策定準備	① 令和元年度実績評価 ② 次期（第6期障がい福祉及び第2期障がい児福祉計画）策定	① 令和2年度実績評価 ② 次期計画（第7期障がい福祉及び第3期障がい児福祉計画）の策定準備	① 令和3年度実績評価 ② 次期計画（第7期障がい福祉及び第3期障がい児福祉計画）の策定準備	① 令和4年度実績評価 ② 次期計画（第7期障がい福祉及び第3期障がい児福祉計画）策定	

2 第6期障がい福祉計画及び第2期障がい児福祉計画の策定に向けて

(1) 策定作業の進捗状況

令和元年（2019年）10月から、吹田市障がい者施策推進委員会作業部会（障がい福祉事業従事者6名）を中心に、計画策定スケジュールの確認、次期計画の重点取組項目やアンケートの項目内容について、検討を進めています。

(2) 計画策定スケジュール(案)

時期	内容
令和元年10月～ 令和2年3月まで	計画スケジュール確認 重点取組項目の検討 アンケート対象者及び項目の検討 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;">障がい者施策推進委員会(1/31実施) 福祉審議会（本日2/19）</div>
令和2年4月～6月まで	アンケートの実施及び集計 今期計画の検証
令和2年7月～10月まで	社会福祉審議会への諮問(障がい者施策推進専門分科会①) 素案検討 当事者団体等からの意見聴取 障がい者施策推進専門分科会②での検討
令和2年11月～12月まで	計画案の検討
令和2年12月下旬	社会福祉審議会答申（障がい者施策推進専門分科会③）
令和3年1月	計画案のパブリックコメント
令和3年2月	吹田市障がい者福祉事業推進本部会議 計画決定

(3)重点取組項目(案)

第4期吹田市障がい者計画		第6期障がい福祉計画等の重点取組項目
支援テーマ	施策分野	
Ⅰ 暮らす・つながる	(1) 生活支援	① 相談支援体制の機能強化 ② 緊急対応システムの構築 ③ 重症心身障がい児者支援体制の整備 ④ 障がい特性に対応したコミュニケーション支援の提供 ⑤ 障害者差別解消法の推進及びユニバーサルデザインの普及 ⑥ 福祉人材の確保及び定着の支援策の重層的な展開
	(2) 保健・医療	
	(3) 情報アクセシビリティ	
	(4) 行政サービス等の配慮	
Ⅱ 育つ	(5) 療育	⑦ 障がい者の社会参加の促進
Ⅲ 学ぶ	(6) 教育	⑧ 障がい者就労の支援環境の整備
	(7) 文化芸術・スポーツ	
Ⅳ 働く	(8) 雇用・就業	
Ⅴ 住む	(9) 生活環境	⑨障がい者の住まいの整備
	(10) 安心・安全	

(4) アンケート(案)

① アンケート対象者

障がい者手帳所持者

② アンケート項目

【1】回答者の属性

(性別、年齢、障がい種別及び程度、医療的ケアの有無及び種類、介護保険認定の有無等)

【2】各障がい福祉サービス等の利用状況

(各サービスの利用の有無、課題、利用意向)

【3】暮らしについて

(居住形態及び家族構成、住居の形態、介護者の有無、介護者不在の時の対応等)

【4】社会参加の状況について

(平日の日中活動場所及び外出の頻度、休日の日中活動場所、外出時の不安等

就労の有無、職種及び雇用形態、働いてない場合のその理由、希望する仕事、希望する就労支援等)

【5】権利擁護や理解促進について

(障がいを理由とする差別の経験の有無及びその内容等、成年後見制度の周知状況及び利用意向等)

【6】相談や情報の入手状況について

(パソコンやスマートフォンの利用状況、福祉サービス等方法の入手手段、相談先の有無等、

障がい者相談支援センターの周知状況と利用実績、相談支援体制に希望すること等)

【7】災害時について

(避難所の認知度、災害時の障がい者支援に重要なこと等)

【8】将来の暮らし方について

(将来希望する暮らし方、将来の暮らしを実現するために必要なこと、障がい者施策に対する関心等)